

(こども版) としょかんだより No.250

わくわく本だな 2004年 12月号

富山市立図書館 富山市丸の内1-4-50 電話 076-432-7272

おおしま たえこ 大島妙子の本



大島さんは、出版社で働いていましたが、仕事を辞めてから、絵本を描きはじめました。現在は、ダイナミックな絵で楽しい世界を描くイラストレーターとして活躍しています。

「 たなかさんちのだいぼうけん 」(えほん) あかね書房

大雨の日、たなかさんちに海の水がどんどん入ってきました。すると、おうちに足がはえて、しずかにおよぎだしたのです。

「 オバケやかたのひみつ 」(えほん) 偕成社

マイケルは、パパのへやのダンボールの中から、古いおうちのもけいを見つめました。満月の夜、その家にあかりがついて、中にはオバケたちが…。

「 きいちゃんのたからもの絵本 」(えほん) ポプラ社

きいちゃんといっしょに、すてきなたからものをさがしにいきませんか。

1. きいちゃんのどんぐり
2. きいちゃんとどろんこピッチ
3. きいちゃんとゆきだるまちゃん
4. きいちゃんのひまわり
5. きいちゃんとドロンじいさん



「 とかげのトホホ 」 角野 栄子/作 ポプラ社

ぼくは、土手の上で、歌をうたっているとかげのトホホを見つけました。トホホのゆめは、大きなワニになることだということです。

「 とんぼがかいたへんな地図 」 舟崎 靖子/作 あかね書房

地面に石でかいた車が、とつぜん走りだしました。そして、運転するぼくのとなりでは、のらネコがせっせと地図をかいています。するとまわりのけしきは、その地図そっくりに！



あたらしくはいった本

= 1・2年

= 3・4年

= 5・6年

えほん

「めんどりヒルダのたんじょうび」 メリー・ウォーメル/作 新風社

今日は、めんどりヒルダのたんじょうび。さっそく、プレゼントをもらいに
出かけます。まずさいしょに、自分へのプレゼントとかんちがいして、
馬のフォーリーのえさを食べました。つぎに、うえきやさんがせっかく
木からつんだりんごも、たべてしまいます。



「ぼく、グジグジ」 チェン・チーユエン/作 朔北社

大きな卵たまごがコロコロころがってきて、アヒルの巣の中に入りました。
お母さんアヒルは、その卵も温めつづけます。やがて卵から出てきたのは、
あおみどり色のみにくいアヒルでしたが、グジグジと名づけてかわいがりました。
ある日、グジグジは自分によく似たどうぶつに出会います。それはなんと、
ワニだったのです。



ものがたり

「シップ船長といるかのイットちゃん」 かどの えいこ/作 偕成社

シップ船長は、海のなんでも屋さんで、どんなおねがいでも
聞いてくれます。今日は、水族館からにげだしたいるか
のイットちゃんをさがすことです。さっそく、イットちゃんの
大こうぶつのチョコレートをもって海へでかけたのですが...



「りっぱなおおかみになりたい屋」 中島 和子/作 ポプラ社

おおかみくんは、りっぱなおおかみになるために、自分にぴったりの仕事を
さがしていました。コロッケ屋さん、花屋さん、本屋さん、なにをやってもうまく
いきません。やっと見つけた仕事は“おやくだち屋さん”。こんどはたいはんじょう
でしたが、あんまりいそがしすぎて、おおかみくんは、病気になってしまいました。

「ふしぎの森のヤーヤー」 内田 麟太郎/作 金の星社

からだはブタのようで耳はウサギみたいな男の子・ヤーヤーは、
ふしぎな森にすんでいます。そこには、変わった動物ばかりがいます。
ひとりごとばかり言っているヒトリゴトさん、「しらねえ」としか言わないシラネエさん...。
ある日ヤーヤーは、森のむこうや空ばかり見ているコリゴリさんに会いました。

「 ゆうれいレンタル株式会社」 山田 陽美 / 作 岩崎書店

体がよわい弟のせいで、いつもがまんしている優真^{ゆうま}。ある日優真の部屋に以前、この家に住んでいたという子どものユウレイがあらわれました。そして、お父さんとお母さんをさがすを手伝ってほしいとたのんだのです。

「 樹のことばと石の封印 - シノダ! - 」 富安 陽子 / 作 偕成社



人間のパパとキツネのママの間に生まれたシノダ家の3人の子どもたちは、ある日とつぜん、たんすのひきだしにすいこまれてしまいます。

そこには見たことのない森や岩山がひろがっていました。そして、たくさんの人間そっくりの石の像^{そう}や、金色のドングリ、霧^{きり}の谷にとじこめられた石の工^{たくみ}など謎だらけの世界でした。

「 うらからいらっしゃい 七つの怪談^{かいだん} 」

齊藤 洋 / 作 偕成社

毎月第二日曜日、西戸^{しよきょうじゆ}助教授は、研究室に大学生をあつめて、怪談クラブ を開いています。小学生でたった一人参加している隆司^{たかし}のところへ、案内状が届きました。

今月のテーマは、“人形”。隆司がきいた七つのこわいお話のはじまりです。



「 空はきんいろ フレンズ 」 大島 真寿美 / 作 偕成社

アリサは同じクラスのニシダくんが気になっていました。ニシダくんはよくわからない人だからです。12月、ビルがとりこわされる様子はずっと見ていたアリサは、近くにニシダくんが立っているのに気づきました。「道路に書かれた線と、本物の人間の影がぴったりとあわせると、来年がこない。」と、不思議なことを言うのです。

ちしきの本



「 世界あちこちゆかいな家めぐり 」

小松 義夫 / 文・写真 福音館書店

外国の人たちは、どんな家にすんでいるのでしょうか。300人もの人びとが、みんなで輪になってくらす家、屋根に目のある家、えんとつで息をする家など、世界中のおもしろい家とそこで暮らす人々の様子をしょうかいます。

しいたい しらべたい



12月のことを「師走^{しわす}」といいますが、どうしてそんな名前がついたのですか。ほかの月も別の名前があるのですか。

次の本などで調べることができます。

- 「行事の名前のひみつ」 国松 俊英 / 作 岩崎書店
- 「日本の年中行事」 深光 富士男 / 著 学研
- 「こどものカレンダー」 かこ さとし / 著 偕成社



シリーズしょうかい

「しあわせないえで - ちいさなしろくまおうじ 3 - 」(えほん) 磯 みゆき / 作 ポプラ社
みんなにきらわれているから、家出をするというゴリラくん。しろくまおうじと
いっしょにたびをしているうちに、とってもしあわせになってきます。

「1ねん1くみ1ばんドタバタ!」 後藤 竜二 / 作 ポプラ社
くろさわくんは、きょうも友だちと大げんかして、教室をとびだしました。
もどってきたくろさわくんは、ダンボールの小学校に転校するというのです。



「さよならの日までに - たんぼ先生あのね 3 - 」 宮川 ひろ / 作 ポプラ社
友也は、“あのねちょう”に「三月に転校するけど、みんなにはないしょね」と書きました
でも、それを見たたんぼ先生は、いい思い出をいっぱいつくろうと、みんなに話しました。



「いえででんしゃは こしょうちゅう?」 あさの あつこ / 作 新日本出版社b
さくら子が、一人ですばんをしていると、とつぜん部屋のカーテンがゆれ、そこに
“いえででんしゃ”のしゃしょうさんがあらわれたました。

「崖の国物語 5 最後の空賊」 ポール スチュワート / 作 ポプラ社
めでたく司書^{ししょくしん}となったルークが、夜の守護^{しゅごせいだん}聖団^まの魔^まの手をくぐりぬけ、深森^{ふかもり}で出会ったのは?

12 がつ

おやすみの日

12月 2日(木) 12月 6日(月)

12月13日(月) 12月20日(月)

12月23日(木・祝) 12月27日(月)

12月29日(水) ~ 1月4日(火)